



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

奉仕の心で未来を築こう



2009-2010年度
R.I.会長よりのメッセージ

第919回例会 2010年2月10日 No.891号

■ 会長時間



会長 井林 孝二

会員の皆様、こんにちは。お客様にはようこそお越しくございました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。今日は、3度目の水ビジネスの話をします。話すたびに日本企業の海外進出がどんどん多くなっており頼もしい限りです。話は、国内の上下水道施設の建設・運営を手掛ける荏原の100%子会社荏原エンジニアリングサービスに三菱商事と日揮が出資して一体で海外進出をはかる話です。

荏原エンジニアリングは、国内で約250ヶ所で上下水道施設の運営・管理を手掛け09年3月期の売上は約780億円。受託施設数では、日本ヘルスエ業に次ぐ国内第2位だが海外ノウハウには乏しかった。今後は、海外について三菱商事が資金調達やリスク管理、日揮がプラント建設に必要な部材調達や設計を担当。荏原が持つ水処理技術と運営・管理ノウハウと組み合わせ、海外水道設備の建設から運営までの一括受注案件を開拓していく。フランスのヴェオリア社などが水処理で1兆円以上の事業規模を持つのに対抗し、売上を数千億円規模に伸ばすことを目指しています。水道インフラの設備には機器、運営、資金などで幅広い経営資源が必要。日本企業はノウハウを持つ企業が分散しており、水交換膜など製品の強みを生かされていなかった。最近の

市場拡大で事業を広げる動きも相次いでおり、三菱商事は国内の上下水道施設の運営・管理に加えてフィリピンの大手水道事業者に出資。日揮もシンガポールの水処理大手と組んで中国で海水淡水化事業を進めている。水道インフラ関連市場は2025年に世界で約90兆円だそう。そのうちの1割でも2割でも日本企業が受注できれば、世界のトヨタが1社、2社と増えるのに匹敵するものと思われ。

今回の例会(2月17日)

ゲスト卓話
広島東ロータリークラブ 直前会長
鵜野 俊雄 様

次回の例会(2月24日)

会員卓話
高野 憲一郎 会員 沖田 彰範 会員

出席報告

(山田例会運営委員)

2月10(水)出席者

| | |
|------|-----|
| 会員総数 | 43名 |
| 出席会員 | 31名 |
| 欠席会員 | 12名 |
| ご来賓 | 0名 |
| ご来客 | 3名 |
| ゲスト | 0名 |

来客者紹介

(山本親睦家族副委員長)

2月10(水)出席者

| | |
|-------|----|
| 広島RC | 2名 |
| 広島西RC | 1名 |

幹事報告(武田副幹事)

■お知らせ

- 3月10日(水)休会のご案内を配布しておりますので、ご確認ください。
- B5版会員名簿の変更訂正版を配布しておりますので、ご確認ください。
- 広島14RC合同懇親ゴルフ大会のご案内を配布しております。
【とき】4月29日(木・祝日)8:00スタート(雨天決行)
【ところ】広島カンツリー倶楽部 西条コース
会費 7,000円 *5月会費徴収
回答期限が3月10日(水)までとなっておりますので、同封の葉書にてご回答下さいませようお願い致します。
- 今週2月13日(土)にANAクラウンプラザホテル広島に於いて、インターシティ・ミーティングが開催されます。出席予定の方はご出席下さいませようお願い致します。なお、登録受付は12:30から会議は13:30からとなっております。
- 第一古川公園植樹式典を次の日程で開催を致します。理事・役員及び社会奉仕委員の方々はもちろん、多数のご参加をお願い致します。
【とき】2月20日(土) 11:00～
【ところ】安佐南区 第一古川公園
- 2月17日の例会は、「32階「ダイヤモンドルーム」」に変更になりましたので、お間違えのない様お願い致します。



.....SMILE BOX

S. A. Aより

本日は全員出宝とさせていただきますので、ご協力をお願い致します。

| | | | |
|-----|---------|----|----------|
| 当日計 | 33,000円 | 累計 | 561,000円 |
|-----|---------|----|----------|

【例会】毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】井林 孝二 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】川中 敬三 【ホームページ】http://www.ryohoku-rc.jp/

【FAX】082-221-4870

会 員 卓 話

『私の仕事とロータリー』

石川 貴与和 会員



私の仕事は酒屋です。

以前の酒屋は、その地域のいろんな意味(町内会、PTA、町の行事など)で中心的な存在として頑張っていたように思います。

現在は、酒屋という業態が少なくなり(いま、お酒を扱っている店舗の中の割合で30%)また、余裕が持てる状態ではなくなり以前のように、あとを継いだ若い世代が、お世話になっている地域の為に役をこなせていないのが現状です。

という「酒屋の愚痴」はそのくらいにして、ロータリーを【奉仕】という観点から捉えますと、私の仕事の酒屋と【奉仕】として以下の三つの事が考えられると思います。

一つめは、冒頭に述べましたこの酒屋としてお世話になった地域へお返しをするということ、つまり役を引き受けたり地域のボランティア(地域清掃活動、地域見回りパトロールなど)に積極的に参加をしたり、又酒屋は、家によっては台所まで入っていく事ができますので家の様子(お年寄りの家庭や小さなお子様の居る家庭など)を把握する事。

二つめは、酒屋として得た知識、体験を皆さんにお返しをするという奉仕、すなわちワイン会、ワインセミナーを開催したり、日本酒の会、蔵元を囲む会を開催したりする事によりお酒の楽しさや、お酒の造られている背景などを皆さんに知っていただきその中で出来た交流の輪を広げていただく事。

三つめは、アルコール飲料という特殊な飲み物を扱っている酒屋としての社会的な奉仕を行うこと。すなわち「未成年者飲酒禁止法」が制定されていますので未成年者恵の飲酒防止の運動、キャンペーン。また、飲酒運転の根絶のためのキャンペーン(これにつきましては、タクシー協会などと一緒に行うわけですが)の開催などをする事。

大きくはこのようなことが考えられます。アルコール飲料という特殊な飲み物に関しましては、しっかりと管理と、適正な販売をされお客様を呼び込むための道具とし手の商品として欲しくないものです。という苦言を呈して卓話とさせていただきます。

会員卓話

『私の仕事とロータリー』

瀬川 長良 会員



ダンボールケースの製造をしています。

ダンボールケースは、毎日のように目にしていると思いますのでご存知だと思いますが、少し詳しく説明をさせていただきます。

【 歴 史 】

| | |
|-------|---|
| 1856年 | 英国で、E. CヒアリーとE. Eアレンの2名がイギリス紳士のシンボル、シルクハットの汗止め用裏打ち材として「しわ付き紙」の特許をとった時が最初とされています。 |
| 1871年 | 米国で、A. Lジョーンズが紙に段を付けただけのものの特許を取得し、わらやおがくずに替わる緩衝材として、ガラス瓶や石油ランプのガラス管などの輸送に使用したのが段ボールを包装材として最初に使った。 |
| 1874年 | 米国で、O. ロングが段が伸びてしまうのを防ぐ為に段の片側にライナーを貼り合せた片面段ボールを開発して特許を取得し、瓶・かめ類の包装に使用した。 |
| 1894年 | 米国で、両面段ボールが考案され、段ボールシートに溝切りと断裁を施した現在のような箱のカタチになりました。 |
| 1895年 | 米国の、ウェルズ・ファーゴ銀行が小口貨物の輸送用に段ボールケースを外装用として使用し始めた。 |
| 1909年 | 日本で、井上貞治朗(レンゴー創業者)が、東京・品川で片面ダンボールを作り、これを「段ボール」と命名し明治42年 事業を開始した。 |

このように、段ボールは、主に米国で発展し、1800年代後半には現在の段ボールの原型が出来上がっていました。

【 生産量 】

| 2000年度 | | 2007年度 | |
|---------|----------|---------|----------|
| 1位 米国 | 373 億㎡ | 1位 米国 | 362 億㎡ |
| 2位 日本 | 135 億㎡ | 2位 中国 | 351 億㎡ |
| 3位 中国 | 117 億㎡ | 3位 日本 | 140 億㎡ |
| 4位 ドイツ | 73 億㎡ | 4位 ドイツ | 73 億㎡ |
| 5位 イタリア | 58 億㎡ | 5位 イタリア | 58 億㎡ |
| 6位 フランス | 52 億㎡ | 6位 フランス | 55 億㎡ |
| (合計) | 1,294 億㎡ | (合計) | 1,746 億㎡ |

世界の段ボール生産量の第1位は米国です。日本は2000年まで第2位でしたが、現在は第3位になっています。段ボールの生産量は、その国の経済規模に比例します。中国の生産量は7年間でちょうど3倍になっています。上位3カ国で、世界の段ボール生産量のおよそ半分を占めています。

【 使用量 】

| | | | |
|------------|-----|--------------|----|
| 1位 加工食品・飲料 | 39% | 5位 陶磁器・ガラス製品 | 6% |
| 2位 青果物 | 13% | 6位 その他食品 | 4% |
| 3位 電器・機械 | 9% | 7位 通信・宅配・引越 | 3% |
| 4位 薬品・化粧品 | 6% | 8位 繊維製品 | 2% |

加工食品・飲料が圧倒的に多いです。青果物は輸入の増加や作付け面積の減少などが原因で、かなり減少しています。一方、通信販売や宅配は、ライフサイクルの変化やインターネット利用者の増加とともに年々増加しています。

最後に段ボール原紙の主原料は段ボール古紙です。その他に雑誌、新聞紙、模造紙、様々な古紙が回収され原料として使用されています(リサイクル率 回収率 90パーセント以上)。技術の進歩で現在では、段ボール原紙を含めた板紙全体では、古紙の利用率は92.7パーセントに達しています。使用済み段ボールは、世界各国で段ボール原紙の主材料として利用されている国際商品です。ご面倒でも、分別収集にご協力をお願いします。